

領域	具体的なプログラム	下記のプログラムを行う理由と期待できる成果	児童発達支援	放課後等デイサービス
① 健康生活	 持ち物管理	理由	身辺自立を促す。	自分の物を管理する力を育て、社会に出た際に日常生活での困り感を軽減する。
		成果	自分で荷物の用意ができるようになってきている、自発的に玩具の片付けができ、次の活動（行動）にスムーズに移行できるようになった。	自分の物をカゴにまとめようとする姿が見られ、物をなくすことや忘れ物の頻度が減っている。
	 水分補給	理由	基本的な生活習慣を身に付ける。	自分の状態に気づき、健康に過ごすことができるようになる。
		成果	水分補給の時間になるとお茶を飲むことが習慣化してきている。	水分補給の時間になるとお茶を飲むことが習慣化される。
	 衛生管理	理由	生きていく上で大切な行為になるので、自立して行うことができるように指導する。衛生に対する意識を高め、行動を般化させる。	生きていく上で大切な行為になるので、自立して行うことができるように指導する。衛生に対する意識を高め、行動を般化させる。
		成果	昼食やおやつの前に、手を洗うことを習慣化される頻度が増える。	昼食やおやつの前に、手を洗うことを習慣化される頻度が増える。
	 クッキング	理由	基本的な生活習慣や生活動作を身に付ける。	楽しく他者と過ごすことができるようになるため。手順や道具の正しい使い方を理解する。
		成果	自分で食具を使って食べることが増えている。苦手なものも食べる様にチャレンジする。	社会的なルールから日常生活における小さなルールまで、生きていく上で必要な力が育まれている。スタッフの話聞き、手順を守ってクッキングに取り組む姿が見られる。手順が分からない時には、質問して適切な行動を取ろうとする姿が見られている。
	 足湯	理由	ルールを守りながら時にはお話を楽しむ時間を持つ。	
		成果	水に対する抵抗感が軽減した。足裏の感覚の向上が見られ、遊びをすることなくルールを守ることができるようになってきている。	
 製作	理由	自身と子供の成長の変化への気づきを促し、共に喜ぶ。	5指の分離や手首の使い方の向上を目指す。手先の器用さや両手の協調動作の向上から、道具操作や身辺自立動作に繋げる。	
	成果	家族や祖父母とのコミュニケーション機会が増える。	手先の器用さが育つことで、鉛筆やペンが持ちやすくなり、書くことへの抵抗感が軽減している。お箸を使う意欲につながっている。	
② 運動感覚	 ボール遊び	理由	ルール理解、距離感・方向感覚を養う。体幹を鍛え、手と目の協調性、異年齢や能力に合わせたコミュニケーションが取れる。	距離感やリリースポイントの理解。ボディバランス、イメージの向上。目と手や目と身体を協調的に動かす力の向上を目指す。
		成果	積極的に動くようになってきており、年下のお友達に対して優しく接する姿が見られる。	ボールを投げる、キャッチする動作が上達しており協調動作や追視運動の向上が見られている。子どもたちが運動能力の向上を実感し、さらなるチャレンジをしようとする姿が見られる。
	 ハンモック & ブランコ	理由	自分の身体の位置を知り、平衡感覚の向上を目指す。	自分の身体の位置を知り、平衡感覚の向上を目指す。
		成果	バランス感覚が身につく体感がふらつきにくくなってきている。座っている時間が増えている。	バランス感覚が身につく体感がふらつきにくくなってきている。座っている時間が増えている。
	 サークット	理由	体幹を鍛える、順番を守る、注意力の向上、他児と協力する、バランス感覚の向上を目指す。	体幹を鍛える、順番を守る、注意力の向上、他児と協力する、バランス感覚の向上を目指す。
		成果	人やものにぶつかる頻度が減ってきている。自分の順番を待てるようになってきている。	人やものにぶつかる頻度が減ってきている。自分の順番を待てるようになってきている。
	 リトミック	理由	聞く力の向上、動作模倣、リズム感を養う、想像力・表現力を養う。	聞く力の向上、動作模倣、リズム感を養う、想像力・表現力を養う。
		成果	（離席の多い子が）楽しく活動に参加することが増えている。	（離席の多い子が）楽しく活動に参加することが増えている。
	 感触遊び	理由	適切な力の入れ方の理解向上。指先の微細運動向上。情緒を育む。身体の表在感覚(触覚・圧覚・温冷覚)の向上。ボディイメージ(前庭覚・固有受容覚)の向上を目指す。	適切な力の入れ方の理解向上。指先の微細運動向上。情緒を育む。身体の表在感覚(触覚・圧覚・温冷覚)の向上。ボディイメージ(前庭覚・固有受容覚)の向上を目指す。
		成果	物の扱い方の向上が見られる。微細運動(お箸の使い方)の向上が見られる。「気持ちいい」「気持ち悪い」等の感覚に触れることで感情が生まれる。指先の感覚刺激による微細運動向上を目指す。	物の扱い方の向上が見られる。微細運動(お箸の使い方)の向上が見られる。「気持ちいい」「気持ち悪い」等の感覚に触れることで感情が生まれる。指先の感覚刺激による微細運動向上を目指す。
 お外遊び	理由	桜やイチヨウなど四季に触れながら感性を養う。基礎体力の向上を目指す。		
	成果	興味を示す幅が増えてきている。		
③ 言語・コミュニケーション	 絵カード	理由	PECSを活用して、言語表出に苦手がある子どもが欲しい物を要求できるようになることを目指す。言語+視覚支援を用いることで、誰にとっても分かりやすい環境づくりを目指す。	PECSを活用して、言語表出に苦手がある子どもが欲しい物を要求できるようになることを目指す。言語+視覚支援を用いることで、誰にとっても分かりやすい環境づくりを目指す。
		成果	欲しいおやつを要求する頻度が増えた。視覚支援を活用することで順番を自発的に守る姿が見られている。	欲しいおやつを要求する頻度が増えた。視覚支援を活用することで順番を自発的に守る姿が見られている。
	 おままごと	理由	想像力・発想力を育み、友だちとの協調性や共感力の向上を目指す。向社会的行動を培う。	
		成果	相手の立場に立った行動ができるようになった。	
 STアプローチ	理由	語彙の理解と表出の向上、言語の形成と活用、基礎的なコミュニケーション能力の向上を目指す。	語彙の理解と表出の向上、言語の形成と活用、基礎的なコミュニケーション能力の向上を目指す。	
	成果	お友だちとのやりとりが円滑にできるようになり、表出できる語彙が増えた。	お友だちとのやりとりが円滑にできるようになり、表出できる語彙が増えた。	
 絵本・紙芝居	理由	想像力を養う、集中力の向上、好奇心を育む。	想像力を養う、集中力の向上、好奇心を育む。	
	成果	文字に興味を持つことが増えた、他者の話を聞くことができる時間が増えた。	文字に興味を持つことが増えた、他者の話を聞くことができる時間が増えた。	
④ 認知行動	 スヌーズレン	理由		プラネタリウムを取り入れて光や音楽に触れ、情緒を安定させたり、リラックスしたりする時間を作っている。
		成果		音楽や光に集中することで情緒が落ち着き、スヌーズレン活動後は、落ち着いて次の活動に移ることができる様子が見られている。
	 ボールプール(宝探し)	理由	宝探しゲームや色探しゲームを行うことで、集中力や見る力を育てる。	宝探しゲームや色探しゲームを行うことで、集中力や見る力を育てる。
		成果	図地弁別や形色の識別力が育ち、文字の識別や整理整頓能力の向上にも繋がっている。	図地弁別や形色の識別力が育ち、文字の識別や整理整頓能力の向上にも繋がっている。
	 お買い物ごっこ・体験	理由	基礎的な買い物の流れの理解を促す/友だちとのやりとりを楽しむ。	数字・文字・ルールの理解ができる事で、生活の質の向上を目指す。
		成果	お金を払うという概念が理解できるようになる。	お金の計算ができることで生活の質が向上している。文字や数字に興味を持ち、意欲的に学ぼうとする姿が見られている。
	 パズル	理由	集中力、忍耐力、記憶力、空間認識力の向上。手指の巧緻性を高める。感覚統合。	集中力、忍耐力、記憶力、空間認識力の向上。手指の巧緻性を高める。感覚統合。
		成果	色や形の認識力が上がった。	色や形の認識力が上がった。
 知育プリント	理由	集中力、忍耐力、記憶力の向上。学習習慣を身に付ける。見通しを立てて全体を把握することで上位概念を理解する力を育む。	集中力、忍耐力、記憶力の向上。学習習慣を身に付ける。見通しを立てて全体を把握することで上位概念を理解する力を育む。	
	成果	学習への意欲を高め、抵抗感を減らす。	学習への意欲を高め、抵抗感を減らす。	
 危険予測	理由	物事に反応できるスキルを上げることで危険察知能力の向上を目指す。	物事に反応できるスキルを上げることで危険察知能力の向上を目指す。	
	成果	危険を予測して行動する力が育ってきている。危険察知能力の向上が見られる。集中力の向上が見られる。	危険を予測して行動する力が育ってきている。危険察知能力の向上が見られる。集中力の向上が見られる。	
⑤ 社会性・人間関係	 SST	理由	他者視点を理解する。イメージする力を育み、想像した状況を言語化し行動することができる。問題解決能力の育む。	自分と他者の違いを知る。パーソナルスペースの理解向上。適切な相互コミュニケーションを取る力の獲得。
		成果	お友だちとのトラブルの頻度が減り、言語化能力が上がった。	意見が違った際に他者視点で物事を考えることができるようになる。適切な距離感を保てるようになることで他社との円滑なコミュニケーションが取れる。継続的にSSTを行うことで、相手の立場になって考える力や自分の思いを適切に伝える力の育ちが見られている。
	 お片付けゲーム	理由	お片付けの習慣化	
成果		お片付けの速度が上がる。効率的に分類して片付けることができる。片付けへの苦手意識を軽減する。		
 おやつ当番	理由	思いやりや協調性を養う。	思いやりや協調性を養う。	
	成果	自分の役割を理解し、責任を持って行動できる機会が増えた。	自分の役割を理解し、責任を持って行動できる機会が増えた。	